官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■　記入票

項目	記入欄
1．サウンディング情報	
①団体名	山口県土木建築部山口きらら博記念公園交流拠点化推進室
②事業名	山口きらら博記念公園交流拠点化事業
③本事業の現在の検討ステージ ※該当する番号に○（いずれか一つ）	1.事業発案 2.事業化検討 3.事業者選定 4.その他（　　）
④サウンディングの目的	○当公園が持つ高いポテンシャル（広大な空間・スポーツ施設等）や海に面した絶好のロケーションを活かした交流拠点施設を整備したいと考えている。 ○対象とする客層は、恒常的な利用が見込めるスポーツ施設利用者、遊具や海辺で遊ばれる客層の基盤となるファミリー層に加え、アウトドアアクティビティやアーバンスポーツの愛好家、散歩やウォーキングを楽しむ地域の高齢者等を想定しており、これらの利用者に対して優れたサービスを提供することが目的である。 ○上記の観点から、当公園の交流拠点化、集客拠点化に向けた民間事業者の意欲的なアイデアを取り入れ、今後導入する機能やその事業手法については具体的に検討していくためにサウンディングを実施するものである。 ■交流拠点化に向けて求められる機能のイメージ （県民ワークショップでの意見） ・四季折々の花を楽しめる花壇や、水遊びが楽しめる親水施設 ・滞在時間の延長や、遠方からの来園者数の増加、スポーツによる合宿利用を見据えた、宿泊施設、温浴施設、カフェ・レストラン ・園内に広がる芝生エリアや海、森など、公園の特長を活かしたキャンプ場やグランピング施設 ・海に面したロケーションを活かし、ファミリー層や若者をターゲットとし、マリンアクティビティ施設や遊具 ・BMX やスケートボード、ダンス等の大会や体験ができるアーバンスポーツパーク ・自然や科学など、遊びながら学ぶことができる体験学習施設 ・動物と共に時間を過ごすことができるドッグラン

⑤民間事業者に対する質問事項	○公園の魅力を高め、多くの人を呼び込むために、どのような業種、業態のテナントに入ってもらうのが良いか、それに伴いどのような施設整備が必要かについて提案いただきたい。 ○施設整備に当たり、官民連携手法としてどのような手法が想定され得るか、また、どの手法が適しているか提案いただきたい。 ○設計・施工・運営を一体的に実施した場合と個別に実施した場合の事業期間や全体事業費についてどのような違いがあるか意見をいただきたい。 ○想定している事業スケジュールについて、ご意見をいただきたい。
⑥対話を希望する業種 ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する業種の事業者の参加を確約するものではありません	1.設計　2.建設　3.不動産 4.金融機関　5.維持管理　6.コンサルタント 7.運営（　　） 8.その他（　　）
⑦対話を希望する事業者の事業展開エリア ※該当する番号に○（複数可） 注）希望する規模の事業者を確約するものではありません	1.全国展開している事業者　2.当該エリア外の事業者 3.地元事業者　4.その他（　　）
２．事業概要 **（１）基本情報**	
①事業の分野 ※該当する番号に○（複数可）	1.公有財産利活用　2.都市公園　３.観光施設 ４.教育・文化関連施設　５.賃貸住宅・宿舎等 ６.廃棄物処理施設・斎場 ７.インフラ施設（　　） ８.その他（　　）
②事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1.新設　2.建替え　3.改修　4.維持管理・運営 5.その他（　　）
③想定する事業類型 ※該当する番号に○（複数可）	1.サービス購入型　2.収益型　3.混合型 4.その他（　　）
④想定する事業の手法 ※該当する番号に○（複数可） ※PFI 事業方式（BTO、RO 等）が具体に決まっている場合、「1.PFI 事業」の（）内に記載ください。	１.PFI 事業（　　）方式　２.DBO 方式 ３.包括的民間委託　4.指定管理者制度 ５.コンセッション　6.Park-PFI 7.土地の賃貸借　、８.建物の賃貸借 ９.その他（　　）
⑤事業内容 ※事業の内容を簡潔にご記入下さい	○本事業は、山口市阿知須地域にある約１３０ha の県立都市公園「山口きらら博記念公園」を、幅広い県民が集い、交流し、県民の活力を創出・発信するにふさわしい拠点となるよう、交流拠点施設として整備を進めていくものである。
⑥現状及び課題	○令和５年度に「基本構想」を策定することとしているが、現時点では、民間事業者に導入を期待する機能やその事業手法につ

	いては具体的に決まっておらず、民間事業者からの助言・提案を踏まえ決める予定としている段階である。 〇当施設は、整備後２０年以上経過しており、老朽化に応じて、計画的な施設の更新が必要。また、コロナ禍を乗り越え、年間を通じた様々なイベントの開催や誘致により県民の活力を創出・発信していくことが必要である。
⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者に考慮してほしい事項等を簡潔にご記入ください	〇大芝生広場では、西日本最大級の野外音楽イベントが毎年開催されるなど、既存の公園利用を踏まえた上で施設を計画することが必要。
⑧事業スケジュール（予定）	〇交流拠点化事業のスケジュール（想定） R5 年度　利用アンケート調査、サウンディング調査、 県民ワークショップ、実証実験の実施 R6 年度　募集要項の作成、公募、事業者選定、契約 R7 年度　事業化（一部は R6 から実施を想定）
（２）対象地	
①所在地（交通情報含む）	山口県山口市阿知須地内　（JR 阿知須駅から徒歩３０分）
②敷地面積	１３０ha
③土地利用上の制約	都市公園
④所有者	山口県
⑤周辺施設等	きらら浜内には、道の駅きららあじす、県立きらら浜自然観察公園が立地している。最寄り駅は JR 阿知須駅で、駅と公園内の多目的ドームまでの距離は、約２ｋｍ。
⑥対象地周辺の環境	新幹線が停車する JR 新山口駅まで車で約１５分 山口宇部空港まで車で約２０分 阿知須 I.C.まで車で約５分
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）	

■　添付資料

①：公園施設概要

②：使用実績（平成 29 年収入状況）

③：位置図と現況写真